

真田三代豆知識

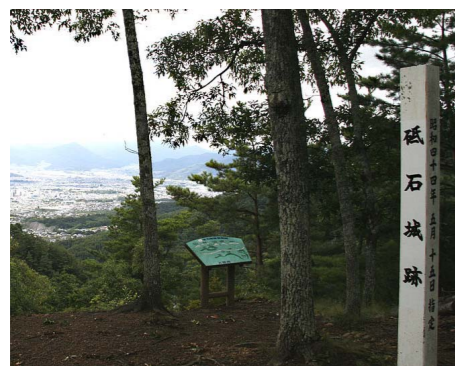
幸隆、武田信玄の配下に

西澤 文登

上州に逃れた真田幸隆は箕輪（現在高崎市箕郷町）の城主・長野業政を頼りました。長野業政は上杉憲政の影響下にあった武将ですがなかなかの人物で幸隆にも温情の処遇をしたようです。しかし幸隆はまず旧領の復活が最優先でした。それには上杉憲政とは敵対関係にある武田信玄の下につくのが最善だと考えたのでしょう。数年後箕輪を出て信玄の下に走ります。これには山本勘助の勧誘があったとされる話もありますが定かではありません。天文15年（1546）頃のこととされています。

武田信玄は信濃侵攻に当たってまず諏訪を攻略、上原城を拠点に伊那や佐久を次々に攻め領土を拡張しました。そして小県の地にもその地歩を固めようと勇将村上義清と対決することになります。坂木（現坂城町）の葛尾城を本拠としていた義清は北信の一部と小県から佐久へとその勢力を伸ばしていました。信濃攻略を論む信玄にとってはどうしても潰さなければならない相手です。1回目の対決は天文17年（1548）2月の上田原の合戦でした。双方とも有力武将を戦死させる激戦でしたが、義清の勝利に終わります。真田幸隆がこの戦いでどのような動きをしたかは記録がありませんので分かりません。信玄の敗北はこれが初めてでした。信玄に侵略されていた他の武将たちも勢いづきますが、さすがは信玄これにめげず反撃して勝利を重ねます。そして2年後天文19年（1550）8月宿敵村上義清にリベンジすべく義清の重要拠点砥石攻めにとりかかります。幸隆はこの時は北信の動静を探る役目をしています。しかし村上義清も強い。とうとう砥石城を落とせずには信玄は退却します。この時有名な砥石崩れと呼ばれる義清の追跡劇があったわけです。武田信玄は生涯で2度の敗戦を味わっていますが2度とも村上義清によるものでした。

「高白斎記」という史料があります。武田信玄の側近だった駒井高白斎が武田氏のことを55年間にわたり日記風に書いたもので、歴史学者にとって根本の史料となっています。この高白斎記の天文20年（1551）5月の所にわずか一行「砥石ノ城真田乗取」という記述があります。



なんと真田幸隆は、信玄が落とせなかった砥石城を一夜のうちに乗っ取ってしまったのです。幸隆の調略の力が大きかったものと思われます。これを機に村上方と武田方の勢力は逆転し、村上義清はこの2年後天文22年（1553）8月上杉謙信を頼って越後に逃れるのです。これが有名な川中島の戦いの引き金になったことはよく知られていますが、その原因は真田幸隆が作ったと言っても過言ではありません。



国際ロータリー第2600地区
上田六文銭ロータリークラブ
Rokumonsen Rotary Club



2015-16年度
国際ロータリー会長
K.R “ラビ” ラビンドラン
第2600地区ガバナー 望月 宗敬

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1 上田東急REIホテル3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002
http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30
《例会場》上田東急REIホテル2F
《創立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 横沢 正 ●会報委員長 松澤 一志 ●副委員長 中澤 信敏 ●委員 柄澤 堯/鹿志村 恭彦

例会日誌

司会 肥田野 秀知君
開会点鐘 西澤 文登君
表敬訪問 上田東 RC
会長 竹内 強君
幹事 岩木 功君
委員会報告 社会奉仕委員長 中沢利樹男君
『ダメゼッタイ』募金箱設置
プログラム 来訪クラブご挨拶
会長卓話 西澤 文登君

会長挨拶

西澤 文登君

暑いですね！上田東 RC の竹内会長さん、岩木幹事さんようこそいらっしゃいました。歓迎申し上げます。

夏の高校野球、一昨年に続いて上田西高校が優勝しました。関係者の皆様おめでとうございます。甲子園、今度こそ一回戦突破を願っております。

私達のクラブは今本当に大事な時期に来ています。8月からは会員の皆様一人ひとりのロータリー観と、このクラブをどうやっていったらよいかのご意見をクラブフォーラムという形で語っていただきます。今日はその手始めに私の意見を述べさせていただきます。よろしくお願いいたします。

幹事報告

横沢 正君

1. 中川直前ガバナー事務所より

- ・ネパール義捐金について、御礼・活動方針とクラブ集計表
- 2. 桐生赤城ロータリークラブより
・新年度ご挨拶
- 3. 望月ガバナー事務所より
・地区大会のご案内…
メール BOX にて配布しました。
- 4. 上田ケーブルビジョン
・「上田わっしょい」配信スケジュールのご案内

恵送

1. 上田東 RC、上田西 RC より
各クラブ計画書
2. 桐生赤城 RC、上田東 RC より 会報

全会員配布物

1. 当クラブ会報 855 号
2. 当クラブ計画書

その他

1. 次週 8/4 は理事会です。
2. **会費の入金がまだお済みでない方は早めのご入金をお願いいたします。**
3. 事務局 8 月休みについて
8/5(水) 午後 1 時より…私用
8/11(火)午前中…夜間例会時間調整
8/12(水)~8/18(火)…盆休み

出席・ニコニコBOX報告

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	23	5	-	78.26%
前々回	23	5	3	91.30%

上田東 RC 様よりニコニコ BOX をいただきました。

上田東 RC 様 本日は会長+幹事でおじゃましていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

西澤 文登君 上田東 RC 竹内様、岩木様 ようこそお越しくださいました。

小嶋 修一君 竹内会長さん、岩木幹事さんお暑い中、御苦勞様です。

柄澤 堯君 竹内会長、岩木幹事ようこそ。

水野 泰雄君 上田東 RC 会長、幹事様ありがとうございます。

P.S ゴルフコンペ御苦勞様でした。

- | | |
|--------|--------|
| 肥田野秀知君 | 田中 栄一君 |
| 鹿志村恭彦君 | 杉山 裕君 |
| 松澤 一志君 | 宮原 宏一君 |
| 中沢利樹男君 | 中澤 信敏君 |
| 西澤 尚夫君 | 生川 秀樹君 |
| 笠原 一洋君 | 横沢 正君 |

委員会報告

社会奉仕委員長 中沢利樹男君 『ダメゼッタイ』募金箱を設置します。

プログラム

■表敬訪問 上田東 RC



会長 竹内 強君

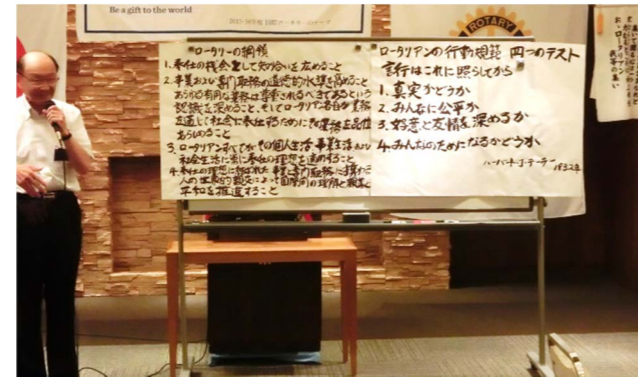


幹事 岩木 功君

■会長卓話 西澤文登君 最大たるより最良たれ!

私は昭和 55 年 5 月に上田東 RC に入会させていただきました。平成 9 年 2 月に上田六文銭 RC 創立と同時にチャーターメンバーとして移籍いたしました。今年でロータリー歴 36 年目になります。この 35 年間う

れしかったこと、悲しかったこと、本当にいろいろなことがありました。ロータリーそのものも大きく変化しました。今日は私の 35 年間で培われた私のロータリー観を述べてみたいと思います。



ロータリーの綱領と四つのテスト

ロータリーの綱領とはロータリーの目的です。綱領を実現するためにロータリークラブおよびその構成員であるロータリアンは活動するわけです。本文は省きますが、クラブ計画書の表紙裏に「ロータリーの目的」として掲載されています。つまるどころ

1. 奉仕することで親睦を深め、知り合いを広め、
 2. 職業奉仕
 3. 社会奉仕
 4. 国際奉仕に努めましょう
- ということを行っているわけです。その活動の規範になるのが「四つのテスト」です。

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- 私にとってこの「四つのテスト」という物差しを知ったことがロータリアンとしての最大の効用であり、同じ目標を目指す先輩・仲間・友人を沢山得たことがロータリークラブに入れていただいた最大の収穫です。

超我の奉仕と明日への奉仕

超我の奉仕(Service Above Self) はロータリーの第 1 標語です。我(自分)を超越した奉仕というのが直訳でしょうが、よく「自分より先に相手を」とか「利他の精神」と解説されます。超我は滅私ではありません。そこには健全な自分、豊かな心を持った自分がいなければならないと私は考えます。健全な自分であるために我々は仕事に精を出し、社会活動に参加し、精神面でも修養に努めるわけです。例会に出席する等のクラ

ブ奉仕は第 4 の奉仕です。私は、四つのテストという物差しを備え、ロータリーの綱領を心得ていれば、ロータリーに関係ない分野、例えば趣味を楽しむこと、飲み会で仲間と語り合うこととかまた家庭生活も含めて全てが明日の良質な奉仕を生むのですから「明日への奉仕」と呼べる第 5 の奉仕概念があってもよいと思っております。

最もよく奉仕する者最も多く報われる

英文は They Profit Most Who Serve Best です。一見底が浅いように感じられますが、非常に奥深い概念だと思えます。Profit を「利益を得る」「儲ける」ではなく「報われる」と訳しています。Profit には「満足を得る」という訳もあるそうです。この場合「精神的な満足を得る」ということで「報われる」としたのです。これは私が若いころ今は亡き水野春海 PG に教わりました。

奉仕活動をして報われるとまた奉仕への意欲が湧き、それがエネルギーとなって奉仕をする。また報われるということで、奉仕の循環となるわけです。

近江商人と二宮尊徳の報徳思想

日本でも四つのテストに似た考え方が昔からありました。近江商人は「売り手よし 買い手よし 世間よし」という商法で全国を歩いたそうです。公正な取引でなければこれは成り立ちません。

二宮尊徳は疲弊した農村を立ち直らせるために報徳思想を基にしたそうです。四つのテストを掲げて食器販売会社を再生させたハーバート・J・テラーの話の日本版です。私はあまり詳しくはありませんが、報徳思想とは「至誠 勤労 分度 推譲」から成っているそうです。この場合の勤労は労働だけでなく至誠による行動とか活動という意味です。分度とはその活動をチェックして無駄や無理が無いことを確かめること。推譲とは分度して余力が出たら他に譲っていく、この活動を他に勧めていくということのようです。この推譲の概念はロータリーでいう超我の考え方もあるようです。

近江商法と報徳思想、特に分度推譲の考え方はロータリーの心と共に学んで、我々の職業や社会生活に応用していくべきだと考えております。

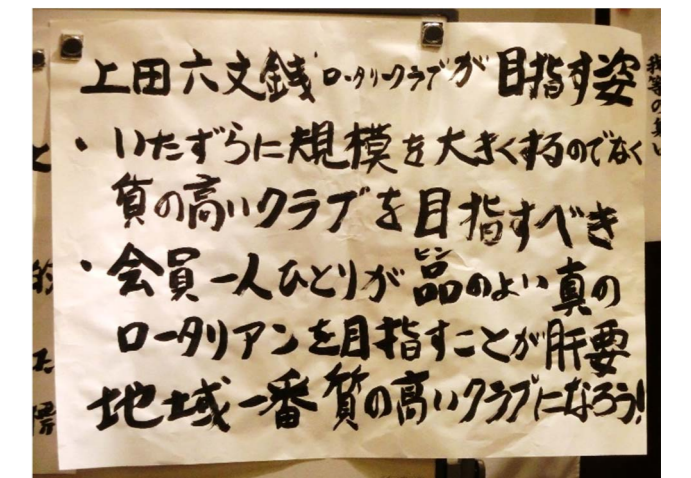
規模よりも質の高いクラブを目指そう!

当クラブ 2 代目会長・笠原一洋さんは「地域一番のクラブを目指そう!」と呼びかけ

ておられました。私も「地域一番質の高いクラブを目指そう!」と提唱したいと思えます。「最大たるより、最良たれ」です。では質の高いクラブとはどのようなクラブなのでしょう? 質を高めるにはどのようにしたらよいのでしょうか? ...私もわかりません。それを今年度みんなで話し合っていると思っております。8 月は全ての皆さんに自分のロータリー観、六文銭クラブをどのようにしたいか等思っておられることを述べていただく月にします。

一つだけわかっています。質の高いクラブとは会員一人ひとりが真のロータリアンであるクラブです。またロータリアンには品が求められます。品のよい真のロータリアンになるよう努めましょう!

上田六文銭ロータリークラブが目指す姿



親睦ゴルフコンペ報告

去る7月26日(日)、二年振りに立科ゴルフ倶楽部にて上田六文銭 RC の親睦ゴルフコンペが開催されました。急な開催にも関わらず 11 名もの会員参加で、多いに盛り上がりました。優勝は水野君、準優勝は山崎君、三位は西沢尚夫君でした。これからゴルフ同好会として、毎月第 4 土曜日開催を目指して行きます。酷暑の中でのプレー、皆様お疲れ様でした。

